

国立工芸館 心象工芸展 関連イベント

トークショー

土地との関わり



画像提供：ブルズアイガラス社 撮影：Hanmi Meyer

登壇者 佐々木 類氏



撮影：野村知也

登壇者 松永 圭太氏

国立工芸館の展覧会「心象工芸展」（9月6日～12月1日）に関連し、心象工芸展出品作家の佐々木類氏、松永圭太氏のお二人をお招きし、「土地との関わり」をテーマにお話を伺います。

日時：令和6年10月5日（土）
午後1時30分～午後3時（開場 午後1時）

場所：国立工芸館 多目的室
（金沢市出羽町3-2）

参加費：無料（要事前申込・要観覧券）

定員：45名

ファシリテーター：岩井美恵子
（国立工芸館工芸課長、本展企画者）



↑WEB(Peatix)より
お申込みください

お問い合わせ：
国立工芸館
☎ 050-5541-8600
（ハローダイヤル）

【登壇者プロフィール】

佐々木類（ガラス作家／アーティスト）

1984年高知県生まれ。2010年ロードアイランドスクールオブデザインガラス科修士課程修了。現在は金沢市内で制作。佐々木は採取した植物をガラスに挟み、焼き上げて灰にすることで、その姿を作品の中に封じ込める。四季に息づく植物は土地の記憶でもあり、見るものの郷愁を誘う。2019年にRakow Commission Award 2018 大賞（コーニングガラス美術館、ニューヨーク、アメリカ）、2021年に富山ガラス大賞展2021 大賞、2022年に国際ガラス展・金沢2022 銀賞と立て続けに受賞。

松永圭太（陶芸作家）

1986年岐阜県生まれ。2010年名城大学建築学科卒業。2013年多治見市陶磁器意匠研究所修了。2016年金沢卯辰山工芸工房修了。現在は土岐市にて制作。液状になった泥漿と呼ばれる粘土を型に流し込む鑄込み成型を用いる。作品は地層を思わせる粗い風合いを持つが、それは松永の作品が長い年月をかけて堆積した土に根差した芸術であることを示している。

近年はアメリカで定期的に展覧会を開催するなど、活動の幅を広げている。

【展覧会のお知らせ】

会期

2024年9月6日(金) - 12月1日(日)

休館日

月曜日

(ただし9月16日、23日、10月14日、
11月4日は開館)、

9月17日、24日、10月15日、11月5日

開館時間

午前9時30分-午後5時30分

※入館は閉館の30分前まで

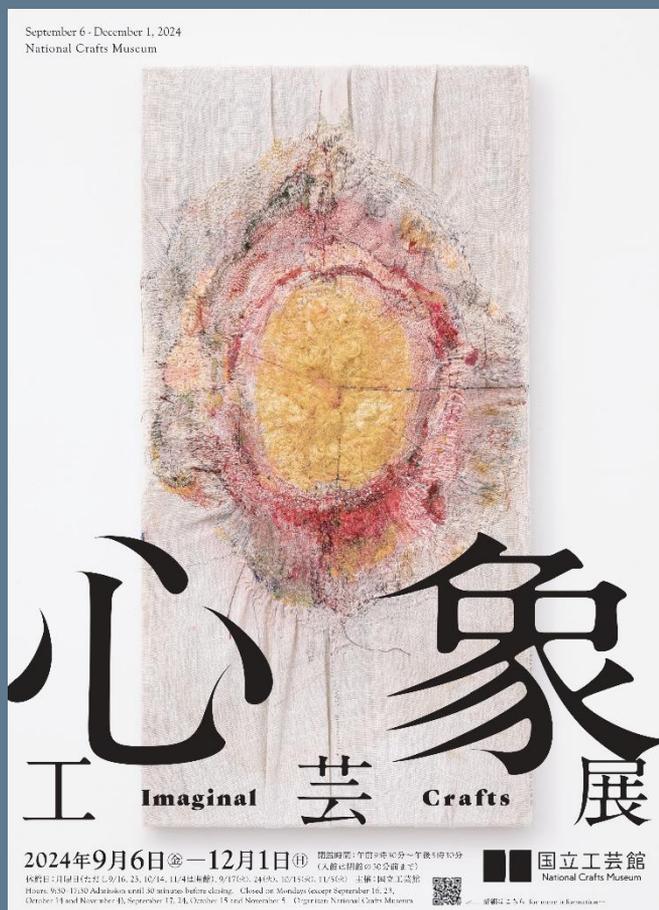
観覧料

一般 1,000円 (900円)

大学生 800円 (700円)

高校生 500円 (400円)

※()内は20名以上の団体料金・割引料金



September 6 - December 1, 2024
National Crafts Museum

心象展
Imaginal Crafts 展

2024年9月6日(金) - 12月1日(日) 開館時間: 午前9時30分 - 午後5時30分
(入館は閉館の30分前まで)
休館日: 月曜日(ただし9/16、23、10/14、11/4は開館)、9/17(金)、24(金)、10/15(金)、11/5(日) 主催: 国立工芸館
Hours: 9:30 - 17:30 (Admission until 30 min before closing). Closed on Mondays (except September 16, 23,
October 14 and November 4), September 17, 24, October 15 and November 5. Organization: National Crafts Museum

国立工芸館
National Crafts Museum